中期経営計画「APTSIS 15」に基づく事業戦略について

三菱化学フーズ株式会社

1.APTSIS 15 における三菱化学フーズ㈱の事業展開

三菱ケミカルホールディングスが掲げる *The KAITEKI* 社会実現というビジョン実現に向けた企業活動の判断基準 (Sustainability、Health、Comfort)に基づき、当社は **Natural、Health、Food Comfort** を掲げて成長を目指します。

Natural とは、文字通り天然あるいは天然物を意図しています。当社は今後も天然に由来する原料をベースにして事業展開していくため、発酵技術、あるいは天然物からの抽出技術の向上に注力します。

Health では、特に肥満抑制に着目し、手軽に低カロリーの食品を実現できるゼロカロリーの糖質であるエリスリトール等の展開に注力します。

Food Comfort は、食品のおいしさ、利便性の向上を意図しており、当社の主力商品である乳化剤で従来から注力してきた分野です。今後は酵素剤を中心に、更なる加工食品の品質や日持ち向上への貢献を目指していきます。特に、経済発展に伴う食生活の変化が著しい中国を中心としたアジア地域において、多くのビジネスチャンスを追求していきます。

MFC における 判断基準	内 容	該当する主な当社製品群
Natural	天然由来素材を原料とし、発酵・抽出技術の駆使	抗酸化剤、抗菌剤、乳酸菌、酵素剤、 乳化剤、着色料など大半の製品群
Health	健康志向、特に肥満抑制への貢献	エリスリトール、乳酸菌、栄養強化剤
Food Comfort	食品の利便性、美味しさの向上への貢献	乳化剤、酵素剤、抗酸化剤、抗菌剤

Natural 天然由来原料

Comfort

おいしさ、おいしさの持続、 利便性、日持ち向上

Health

ゼロカロリー・低カロリー、 栄養強化剤、乳酸菌

私たちは、Natural、Comfort、Healthをテーマに 食の分野でKAITEKIへ貢献します

(1/2)

2.三菱化学フーズ㈱における APTSIS 15

当社は、APTSIS 15 達成に向けて以下の具体的な目標を策定し、事業展開していきます。

○売上: 現状の 157 億円(2010 年度)から APTSIS 15 最終年である 2015 年に 400 億円を目指す

○製品戦略:乳化剤事業およびエリスリトール・酵素を主体とする発酵ビジネスへ注力する

○エリア戦略:中国を中心とするアジアを最重点地域とする

3.APTSIS 15 達成に向けた施策

乳化剤事業;成長著しい中国、特に乳飲料、乳製品分野、ケーキ用起泡剤の分野へ注力します。一方、国内においては、お客様へのさらなる技術サポートを通じて、新たなニーズの掘り起こしを目指していきます。



天然物事業;過去に取得した東京田辺製薬、カレックス、三共ライフテック社各社の食添事業の相乗効果を最大限に発揮すべく、各事業の見直しを実施してきました。今後はエリスリトール・酵素を主体とする発酵ビジネスに重点をおき、同分野の技術と製品群の充実を目指します。さらに、様々な天然物を原料として更なる活用を図るため、天然物からの抽出技術の向上を目指します。

*天然物事業には、乳酸菌、抗菌・鮮度保持剤、酵素剤、糖質、着色料、酸化防止剤などが含まれます

4.三菱化学フーズ㈱の取組みの詳細

(1)乳化剤事業の詳細

東アジアを中心とする需要急増に対応するため、シュガーエステル(SE)の製造設備の増強を決定しました。また、中国でマーケティング中のケーキ用品質改良剤では、製造設備の新設を検討中です。

SEの製造設備の増強については、三菱化学㈱(MCC)四日市事業所に以下の内容で進行中です。

- 増強能力:約 2.000t/年間
- ○稼動時期:2012年夏 営業運転開始予定
- ○投資額:総額30億円以上(一層の品質向上への段階的な投資を含む)



(2)エリスリトール事業の詳細

エリスリトールは、国内では確固たる市場を形成しており、国外では低カロリー指向を背景に北米を中心に市場拡大を続けており、世界需要は 25,000 トン程度に達していると推定しています。当社は約 5,000 トンの供給能力を備えていますが、国内外の旺盛な需要増に対応すべく事業拡大について検討を始めております。



(3)酵素剤事業の詳細

酵素ビジネスでは、MCCで培ったバイオ技術を活用し三菱化学科学技術研究センターと連携して複数の 具体的な開発テーマに取組んでいます。2009年に出資した酵素専業メーカーのエィチビィアイ社とは、 同社の優れた製造技術との連携を図るべく生産委託などを通じて緊密な関係作りを進めています。



以上